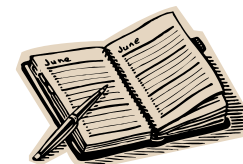


「第13回全国シンポジウム」

ICTを活用したこれからの地域医療／プライマリケア教育・研修を考える

「医学生・看護学生・薬学生のための
オンライン地域医療実習と今後の展開」
～**へき地**は医師をステキにする～

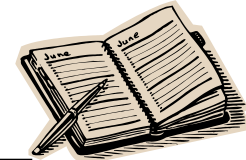


令和4年2月18日（金）



山口県立総合医療センター
へき地医療支援センター
原田 昌範

自己紹介



卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
勤務先	県総		岩国市立 錦中央病院			県総 外科	周南市立 鹿野診療所		萩市 大島診療所		自治 医大 地域	山口県立総合医療センター へき地医療支援センター										
	義務年限									山口県ドクタープール			FA									

2000年
自治医科大学卒業

家庭医療専門医
(何でも診ましよう科)



県総

- 山口県立総合医療センター **へき地医療支援センター センター長**
へき地支援：巡回診療・代診・医師派遣（休日急患診療所、へき地診療所）
総合内科（入院）・人間ドック・NST・DMAT隊員
長州総合診療プログラム 責任者
- 山口県庁医療政策課 主幹（医師確保対策班・へき地医療担当）
健康増進課 主幹（新型コロナウイルス感染症対策室）
- 山口大学医学部 非常勤講師／神戸大学医学部 非常勤講師
- 公益社団法人地域医療振興協会 理事・山口県支部長
- 日本遠隔医療学会 へき地遠隔医療分科会長



県庁

山口県保健医療計画（へき地医療）

【過疎3法】
過疎地域自立促進特別措置法
離島振興法
山村振興法

■ …へき地（過疎地域自立促進特別措置法・離島振興法・山村振興法の指定地域）

H …へき地医療拠点病院（7）

● …へき地診療所（常勤（週4日以上））（12）

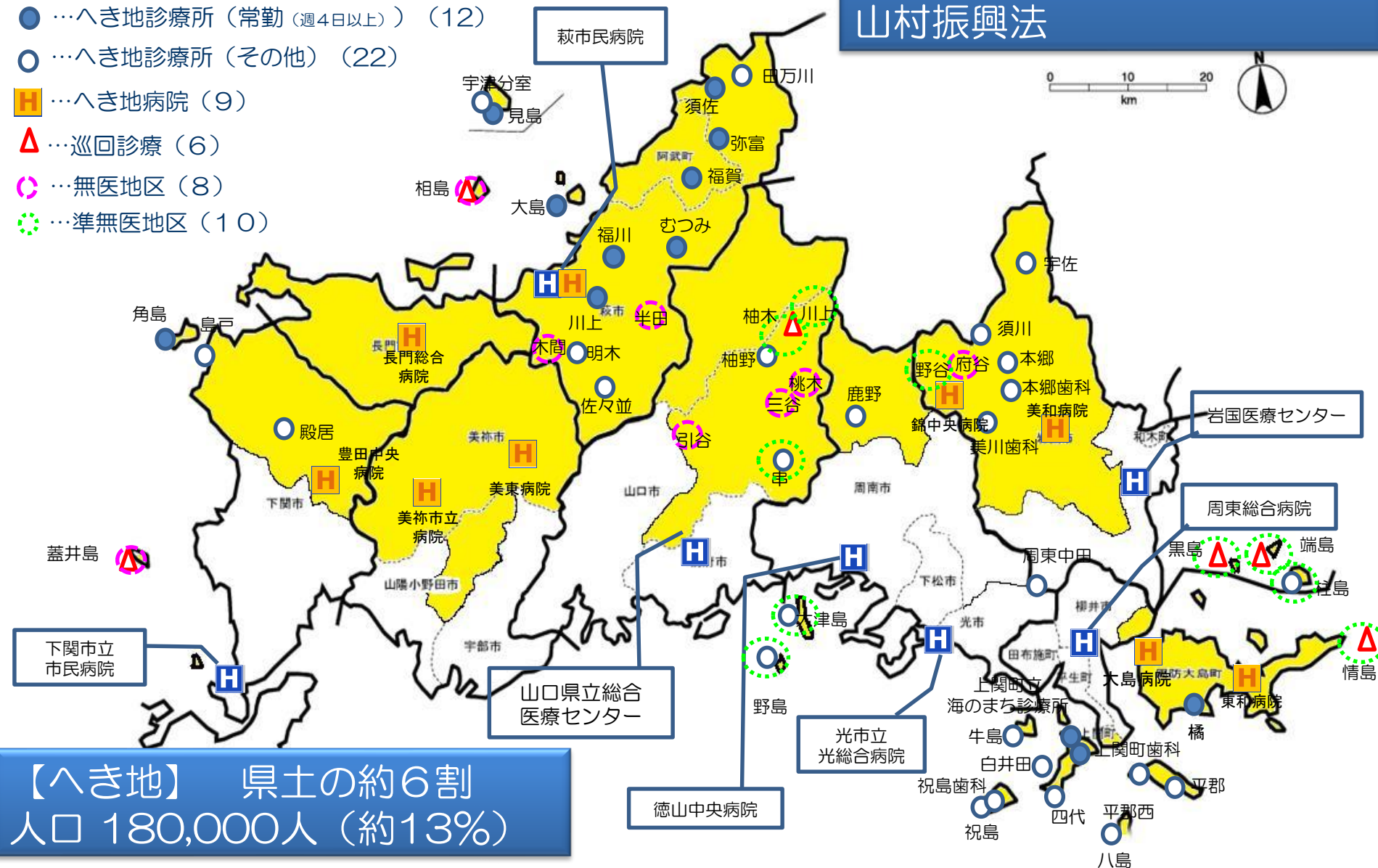
○ …へき地診療所（その他）（22）

H …へき地病院（9）

△ …巡回診療（6）

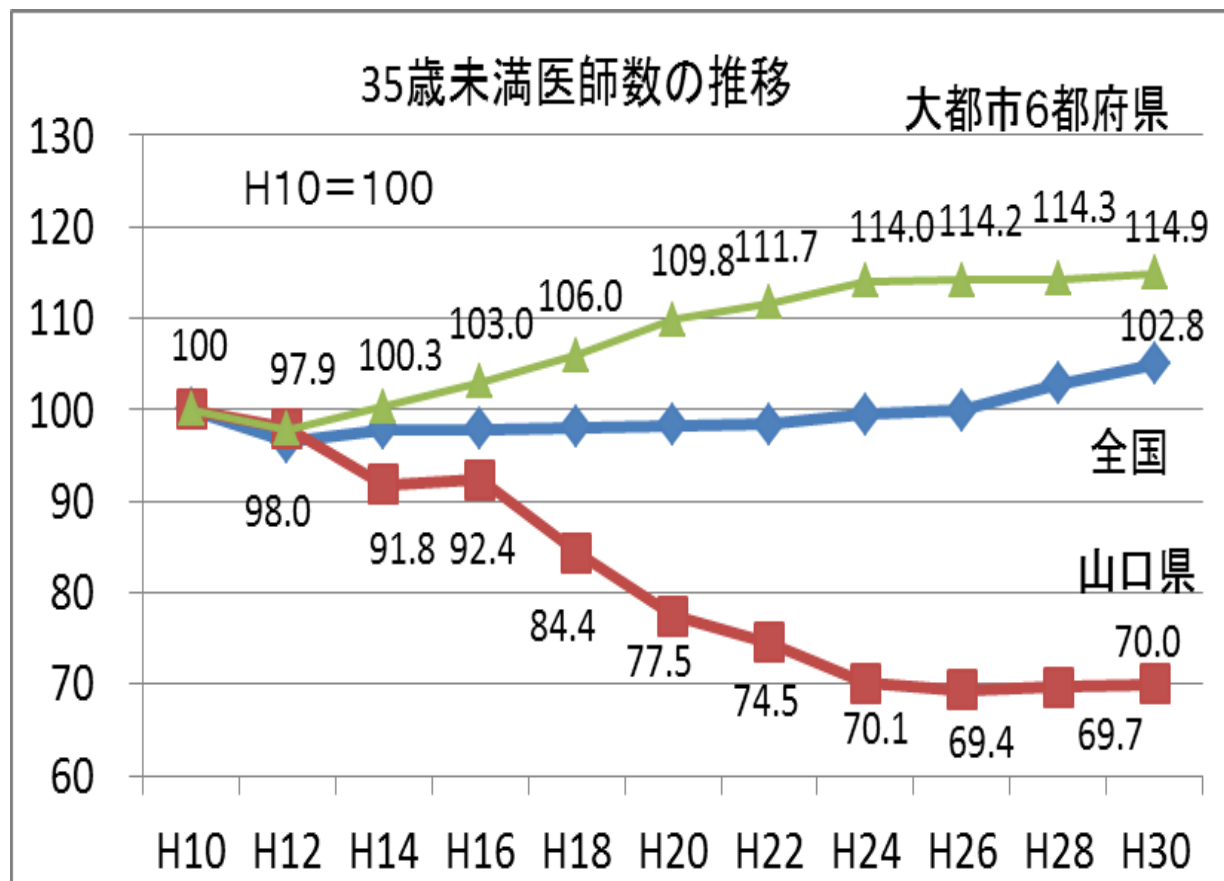
○ …無医地区（8）

○ …準無医地区（10）



【へき地】 県土の約6割
人口 180,000人（約13%）

35歳未満の若い医師が減少



へき地・中山間地域の診療所で病気等を理由にリタイア (H25～R1年度)

萩市

松井医院 (田万川)
松原医院 (須佐)

周南市

大津島診療所
鹿野診療所
長沼医院 (和田)

上関町

祝島診療所
上関町診療所

光市

牛島診療所

山口市

井上医院・亀田医院

医師の平均年齢 **53.0歳** : 全国一位

○若手医師の減少

○へき地・中山間地域を支えている医師の高齢化

診療科の偏在

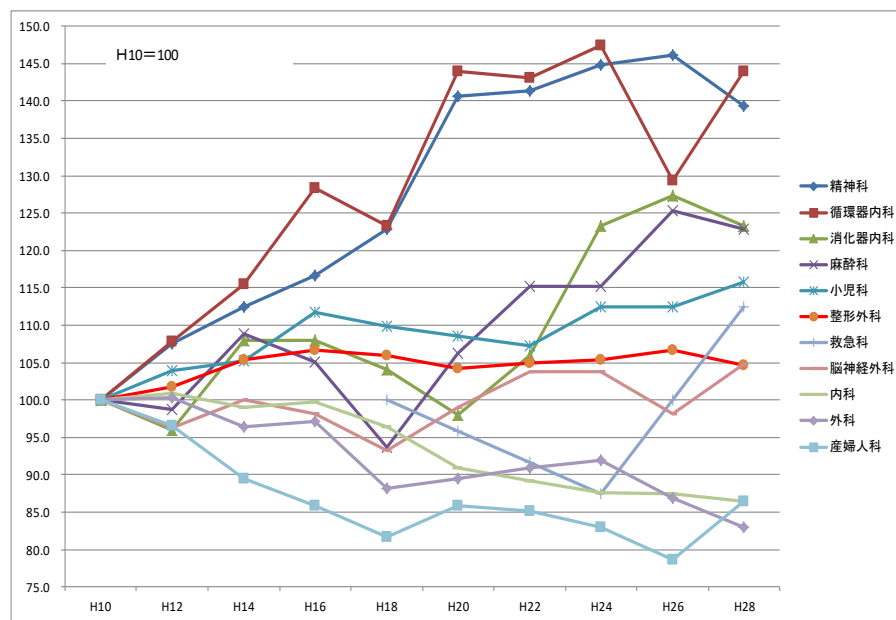


小児科、産婦人科、救急科、麻酔科、外科
放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科
膠原病科、脳神経外科
腎臓内科、感染症科
総合診療科

進む専門分化

高齢になるほど
複数の疾患を持つ
multimorbidity

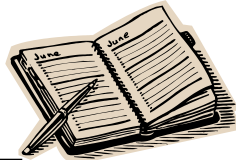
山口県の各診療科の医師の伸び率(医療施設従事)



※ 内科は、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科を含む。
外科は、乳腺外科、消化器外科を含む。
産婦人科は、産科を含む。

すべての専門診療科をへき地に揃えるのは不可能

山口県でも「総合診療専門医」の育成を！



「まず診る・相談できる医師、地域も診る医師」

急性疾患の
管理

慢性疾患の管理

地域包括ケア
への関わり

在宅医療

予防接種

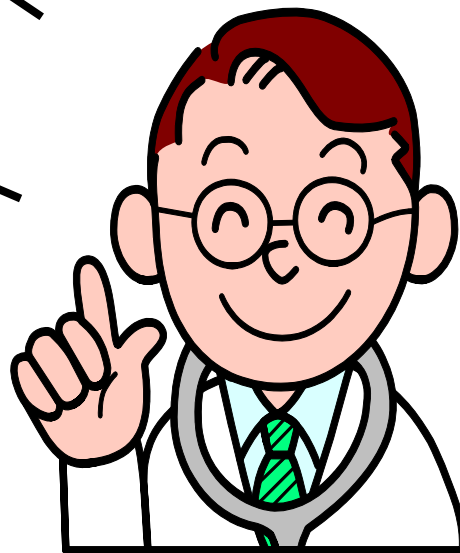
介護保険への
関わり

健康診断

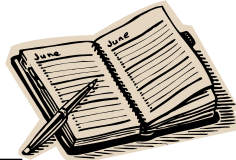
学校医

健康教育

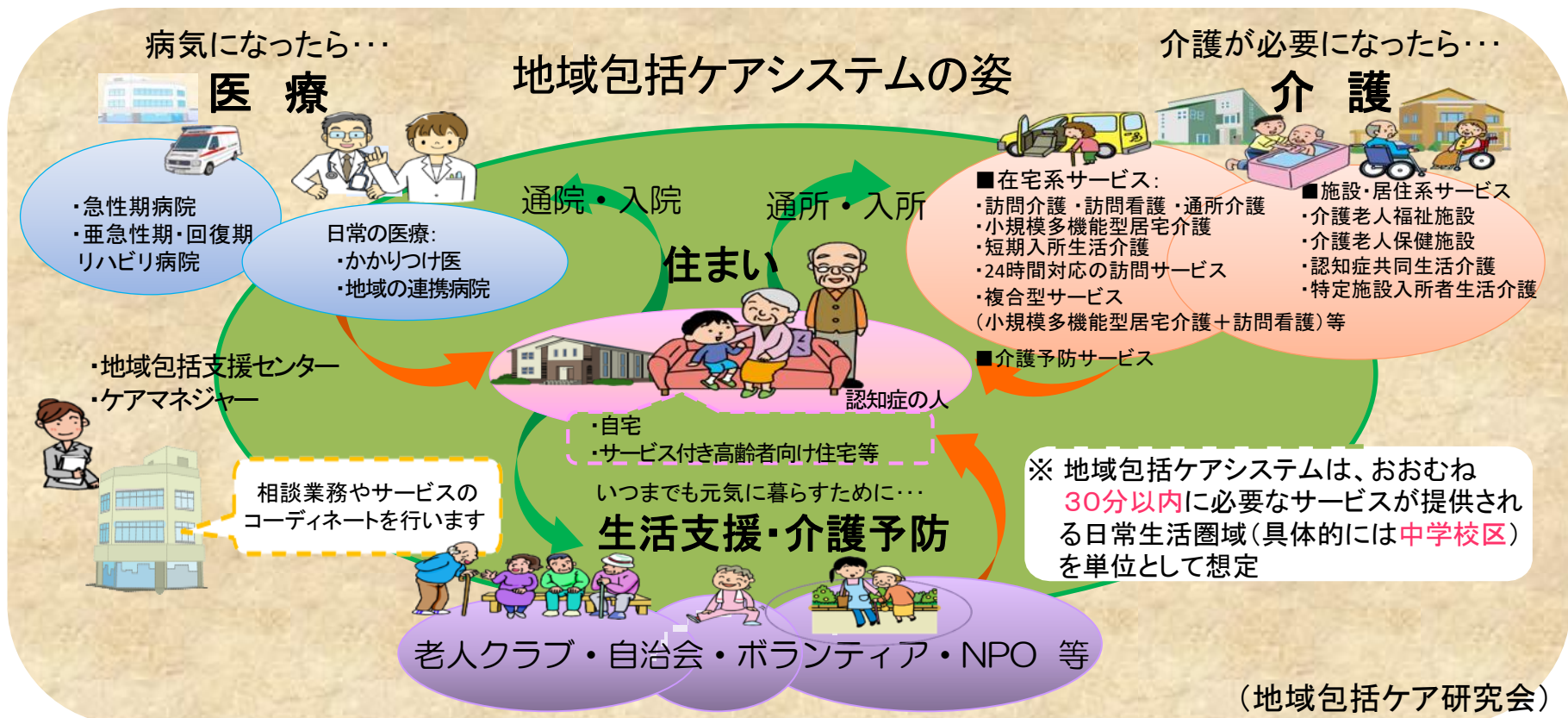
産業医



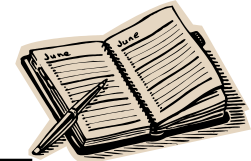
どこでも「地域包括ケアシステム」



- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても**住み慣れた地域**で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が一体的に提供される**地域包括ケアシステム**の構築を実現していきます。（以下省略）



現状と課題！



県全体の人口減少、過疎化、高齢化

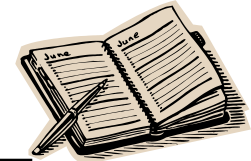
- 医師の地域偏在（特にへき地）
- 若手医師の減少
- 高齢医師の引退
- 診療科の偏在
- 持続可能な医療提供体制の構築
- 地域包括ケアの担い手の不足

へき地・地域医療の確保は**ライフライン**のひとつ



まち（地域）づくり・人づくり

ふるさとでの医療を守る仕組み



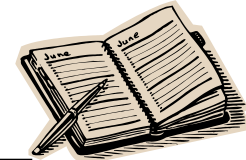
第7次山口県保健医療計画（H30～）

【キーワード】

- 県の修学資金制度（緊急医師確保対策枠、自治医大等）
- 山口県地域医療支援センター（県と大学の連携）
- 学生に「地域医療マインド」を伝えるセミナー
- 地域のニーズに対応できる「総合診療医」の養成
- へき地医療支援部

地域医療に関心が持てる医師人の育成

へき地医療支援センター (H25~)



SCRUM (Support Center for Rural Medicine)

○診療支援 (へき地医療拠点病院として)

巡回診療：無医地区対策

代診：へき地診療所の支援対策

休日夜間診療支援：萩市、長門市 (H25~)

へき地医療支援ベッド機能 (H26~)

医師派遣：周南市 (H28~) ・山口市 (R3~)

○仕組みづくり (県医療政策課と連携して)

県・市町と「へき地医療」を守る仕組みづくり

シモノセキ・キラクラブプロジェクト

遠隔医療：厚労省の実証事業、山口県5G実証事業

○次世代の育成とメンター (へき地勤務医師のサポート)

医学生：やまぐち地域医療セミナー

初期研修医：地域医療、短期総合、総合内科、家庭医入門コース

後期研修医：長州総合診療プログラム (新専門制度に対応)

アドバンスコース・フェローコース・キャリアチェンジコース

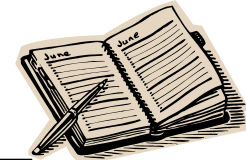
自治医大卒義務内医師のサポート

Masanori Harada 原田昌範 専門分野: ファミリーケア、家庭医療、内科	Yutaka Nakashima 中嶋裕 専門分野: ファミリーケア、家庭医療、内科	Kei Miyano 宮野馨 専門分野: ファミリーケア、内科
Kei Yokota 横田啓 専門分野: ファミリーケア、内科	Hiroyuki Katayama 片山寛之 専門分野: 家庭医療、総合診療	Hiroshi Okamura 岡村宏 専門分野: 家庭医療、ファミリーケア、家庭医、総合診療
Kazuhiro Murata 村田和弘 専門分野: シニアケア、総合診療	Natsue Kaneko 金子奈津江 専門分野: 精神科、産科、小児科	Naoko Akutagawa 芥川なおこ 専門分野: ファミリーケア、内科、ファミリーケア
Satoshi Nishihara 西原聡志 専門分野: 外科、総合診療	Akihiro Mezuki 眞豆紀晶洋 専門分野: 精神科、内科	
Yutaro Okamoto 岡本雄太郎 専門分野: 総合診療科	Naoyuki Ichimura 市村尚之 専門分野: 総合診療科	

長州総合
診療プログラム
Choshu Family Medicine Residency



長州総合診療プログラム ICTをフル活用



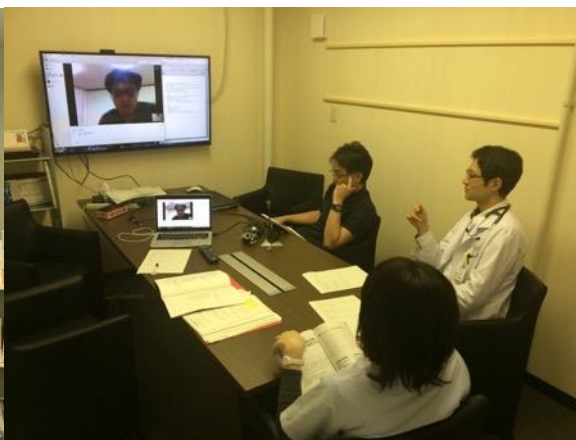
○新制度における9年間
(制度開始は30年)

			前半			後半			
			総合診療専門医の取得 医師の質の向上と担保			総合診療専門医としてへき地医療に貢献 へき地に良質な医療の提供			
卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
派遣事由	初期臨床研修		へき地勤務 ① (総合診療専門研修)			へき地勤務 ②		後期研修	へき地勤務③
派遣先	山口県立総合医療センター (県総)		へき地医療機関 A 総合診療研修Ⅰ 12か月 総合診療研修Ⅱ 6か月 内科6ヶ月		県総 内科 6か月 小児科 3か月 救急科 3か月	へき地医療機関 B		県総 希望診療科	へき地医療機関 C

Webでへき地の専攻医と県内外のプログラムとつながる (県から助成あり)



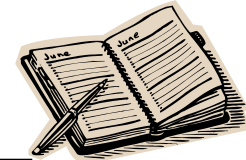
Webレクチャー (毎月)



Webカンファレンス (毎週)

- 診療の質の向上
- コミュニケーション増
- 専攻医の孤立を防げる
- 心身のフォローが可能
- 県外からの医師確保
- へき地の生の情報を得る
- へき地の教育環境が整う

厚生労働行政推進調査事業（原田班）



2019年11月～ 前野教授（つくば大学）の分担研究として活動開始

「へき地医療の推進に向けたオンライン診療体制の構築についての研究」
（H30－医療－指定－018）

- 国内の離島へき地におけるオンライン診療の現状と課題
- へき地におけるオンライン診療モデルの検証@山口県
- 海外視察（米国，豪州，英国，デンマーク）
- オンライン服薬指導と電子処方箋
- ネットワーク・セキュリティ
- 小児、産婦人科領域における遠隔医療

令和元年度（2019年度）の研究報告書

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2019/193011/201922037A_upload/201922037A0004.pdf

令和2年度（2020年度）の研究報告書

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202022011A-buntan1.pdf

2021年4月～ 主任研究として（3年間）

「海外の制度等の状況を踏まえた離島・へき地等におけるオンライン診療体制の構築についての研究」（課題番号：21IA2007）

第1回

世界の地域医療に学ぶ会

海の向こうからの新しい風
地域医療を
おもしろく

2020
9.16 WED
13:00 ▶ 15:00

海外の地域医療で活躍する医療人から各国の現状や先進的な取り組みを生の声でご紹介
いただき、明日からの我が国のへき地医療に活かすべく、講師とともに語り合う会

全10回を予定

座長

西村 謙祐 先生 原田 昌範 先生
岩崎市立総合中央病院
本郷診療所 山口県立総合医療センター
へき地医療支援部

シンポジスト



Daisuke Yamashita



Hirofumi Haga

山下 大輔 先生 芳賀 洋文 先生
オレゴン健康科学大学
医学部家庭医療学講座准教授
クイーンズランド大学医学部
へき地医療学部門 上級講師
公益社団法人地域医療振興協会
寄付講座教授 クイーンズランド州政府保険部門
上級医療職 (へき地総合診療医)
セントヴィンセント病院
救急部門総合診療専門医

特別発言

木下 順二 先生 公益社団法人
地域医療振興協会 常務理事

対象者

主にへき地医療に関係する医療従事者・介護者・事務スタッフ、
その他興味を持って頂ける方(学生も可)

地域医療

×

オンライン診療

×

COVID-19

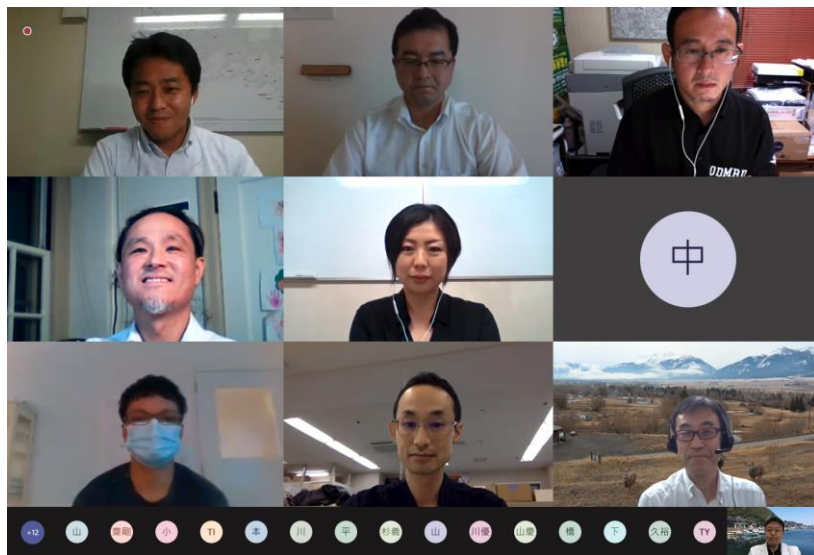
米・豪州のサムライ医が
コロナ禍の地域医療を語る
— コロナ禍で役立つ遠隔医療とは? —

参加のお申し込みは
こちらのから
締め切り: 9月13日(日)



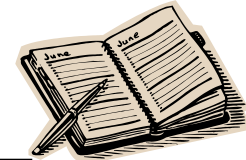
共催/公益社団法人地域医療振興協会山口県支部
山口県立総合医療センターへき地医療支援部
後援/公益社団法人地域医療振興協会

公益社団法人
地域医療振興協会
公益社団法人 山口県立病院機構
山口県立総合医療センター



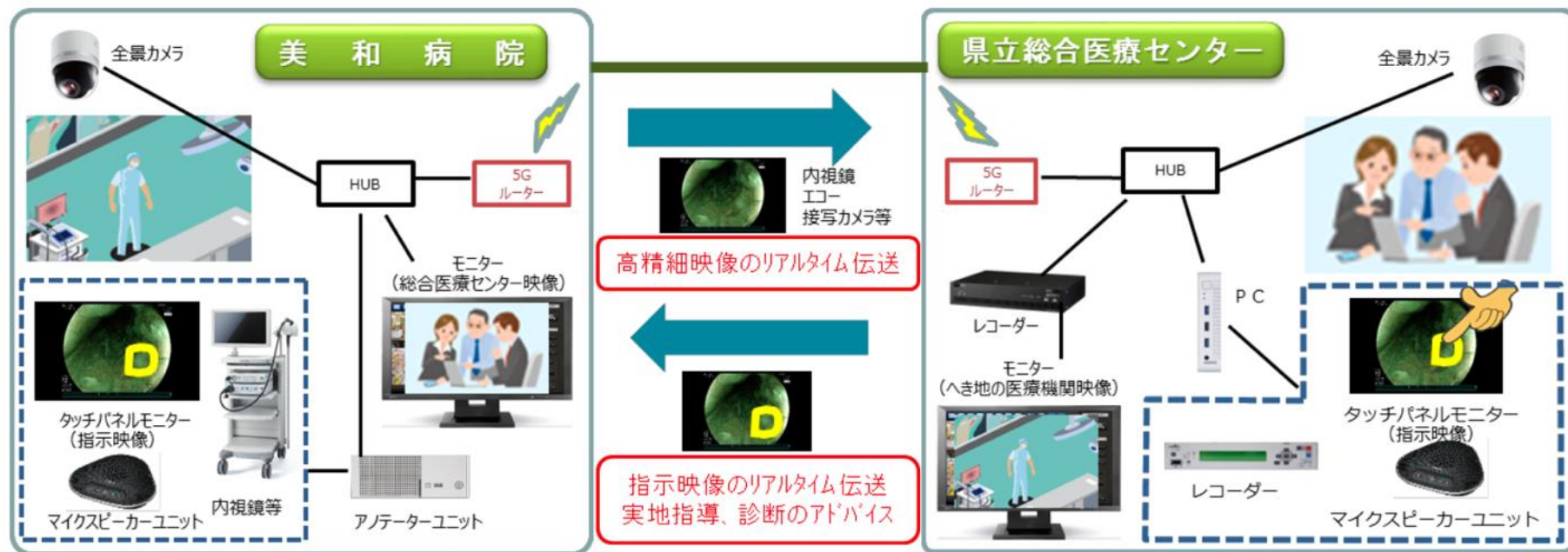
海外視察でできたネット
ワークで世界のコロナ対策
(オンライン診療)を把握

5Gを利用した県の実証も2月開始予定



5Gによる へき地医療支援事業

- 上部消化管内視鏡
- 嚥下リハ

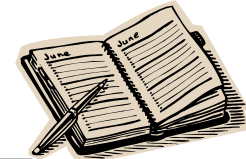


住み慣れた地域で自分らしく
安心して暮らし続けるために

暮らしに寄り添える医療人
なんでも相談できる医療人
地域の医療に関心の持てる医療人

「地域まるごとケア（地域包括ケア）」
を実践できる医療人

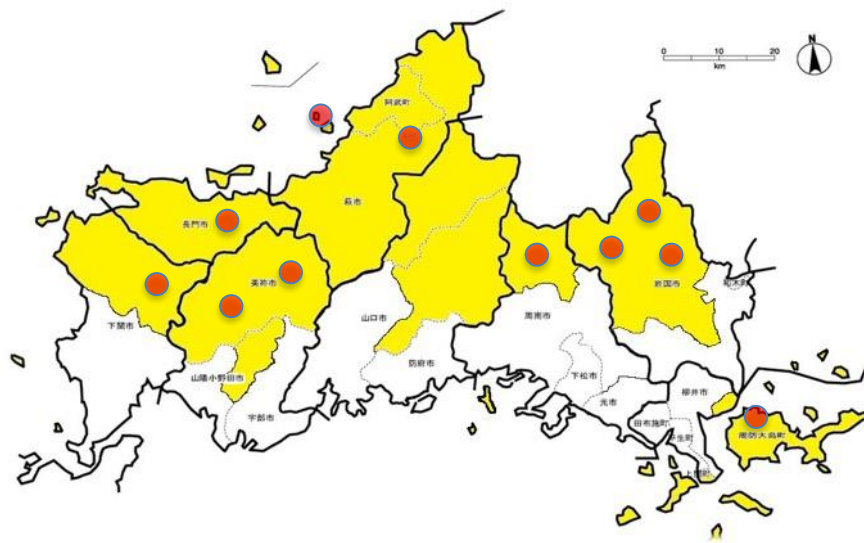
やまぐち地域医療セミナー（7自治体）



今年はオンラインで遠隔診療の様子やWEB会議などを通じたセミナーとなります。掲載の写真は昨年までの実習風景です。



今年はコロナ禍のため
完全オンライン開催



今年は「セミナー特別版」

学生が
地域で
学び考える

やまぐち
地域医療
セミナー
Community
Medicine Seminar 2020

8.17日 → 9.9日
オンラインセミナー
参加者募集!!

対象 8.17(月)～9.9(水)の期間中に周南市、萩市、岩国市、下関市、周防大島町、
長門市、美祿市の7つの市町で開催されるセミナーのいずれかに2日間参加できる
地域医療に興味のある大学生・専門学生

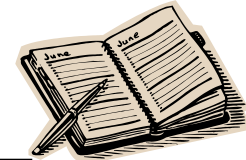
下関は「キラキラプロジェクトメン
バー」を中心にセミナーを企画

医学生（山大・自治医大）：21名
看護学生（県内各地域）：17名
下関卒（社会福祉、国際総合科学）
：4名

周南市	萩市	岩国市	下関市	周防大島町	長門市	美祿市
8.17日	8.19日	8.20日	8.20日	8.27日	9.2日	9.8日
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
8.18日	8.20日	8.21日	8.21日	8.28日	9.3日	9.9日

お問い合わせ先 地方独立行政法人 山口県立病院機構
山口県立総合医療センター 実行委員会事務局 山口県立総合医療センター
八幡地区医療部 0835-22-4411 soumuka@ymghp.jp

オンライン地域医療セミナー@周南市



MC原田



コミュニティと座談会



住職の法話



訪問看護師にインタビュー

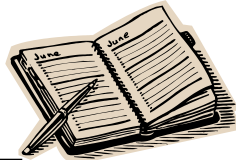


周南市長と対談



オンライン飲み会

やまぐち地域医療セミナー2021



Community Medicine Seminar やまぐち地域医療 セミナー2021

山口県内の7市町で開催

やまぐち地域医療セミナーとは

これからの山口県の医療を担う若者に、地域を通じて医療を、また医療を通じて地域を感じて頂くセミナーです。地域医療を支える人々や地域住民の生の声を傾け、地域で必要とされている日々の暮らしを支える医療を実感して欲しい。また、地域そのものの魅力や課題を知って欲しい。そうした経験を通じて、幅広い視野を持った地域医療マインド(地域に関心を持ち地域に寄り添う医療を届けたいという志)あふれる医療人となり、将来の山口県の医療を力強く支えて頂くことを期待しています。

ハイブリッド開催

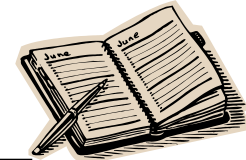
自治医科大学医学部
 山口大学医学部医学科
 山口県立大学看護学科
 山口県立萩看護学校
 岩国看護学校
 徳山看護専門学校
 山口大学医学部保健学科
 島根大学医学部看護学科
 山口東京理科大学薬学部

<h4>萩市</h4> <p>→へき地医療を学ぶ</p> <p>高齢化・過疎化が進む島島や山間地域の医療現場や地域の特性を学び、へき地医療に何が必要かを考えよう。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●へき地診療所の診療見学 ●訪問診療同行 ●ケア会議への参加 <p>8.4◎→8.5◎</p>	<h4>周防大島町</h4> <p>→超高齢化の地域医療を体験</p> <p>超高齢化の周防大島町において、地域に寄り添う医療の魅力や変えつつある課題を、一緒に考えてみませんか。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周防大島町内の医療現場見学 ●在宅、訪問診療(地域の方々との交流) ●医療福祉関係者インタビュー など <p>8.26◎→8.27◎</p>
<h4>周南市</h4> <p>→見えない敵とたたかう</p> <p>コロナ禍において、地域を支えるための医療従事者の役割について考えます。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療現場見学 ●医療関係者インタビュー ●地域や多職種の方々との交流 <p>8.16◎→8.17◎</p>	<h4>美祿市</h4> <p>→美祿市の地域医療・介護を知ろう</p> <p>美祿市は中山間の過疎地域であり、高齢者の割合が年々高まっています。この地域での地域医療や介護の現状や役割を一緒に考えてみましょう。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市立2病院や診療所等での見学・実習 ●訪問診療・訪問看護への随行 ●サロンや住民協会の参加 <p>8.31◎→9.1◎</p>
<h4>岩国市</h4> <p>→ICTと多職種連携</p> <p>これからのへき地医療の支え方を一緒に考えよう。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●へき地におけるオンライン診療 ●ICTを活用した地域連携 ●自宅訪問(看護・ヘルパー等)に随行 <p>8.19◎→8.20◎</p>	<h4>上関町</h4> <p>→海と島のまわらばを体験する</p> <p>上関町は瀬戸内海に面した半島に位置しており、2つの島嶼を有しています。海と島にある暮らしと高齢化の抱える課題点を体験してもらえればと思います。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療の体験 ●高齢化対策の取組について考える ●地域住民と交流する ●最新情報を関係者に発信してみる <p>9.2◎→9.3◎</p>
<h4>長門市</h4> <p>→健康百寿をテーマにまちづくりを考える</p> <p>健康百寿プロジェクトの取り組みや地域住民の生活中心に必要とする高齢者や若者の現状を把握し、地域資源を生かしたまちづくりを考えます。</p> <p>主な実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療現場での診療見学、訪問診療同行 ●地域医療関係者の活動見学、地域の方との交流 ●健康百寿プロジェクトについて知る <p>8.24◎→8.25◎</p>	

■主催 / やまぐち地域医療セミナー 2021 実行委員会
 ■共催 / 山口県、下関市、美祿市、長門市、萩市、周南市、岩国市、周防大島町、上関町、公益社団法人地域医療振興協会山口県支部
 ■後援 / 山口県立総合医療センター、山口県医師会、自治医科大学、山口大学医学部、山口県立大学
 山陽小野田市立山口東京理科大学、山口県国民健康保険団体連合会、山口県薬剤師会



やまぐち地域医療セミナー（高校生向け）



HIGH SCHOOL VERSION



COMMUNITY MEDICINE SEMINAR

11.15 第1回高校生セミナー 周南市



- 実施主体 / やまぐち地域医療セミナー2020実行委員会
(第1回担当:周南市+へき地区医療支援部)
- 日 時 / 令和2年11月15日(日) 13:00~17:30 (参加人数13名)
- 形 式 / 完全オンライン(Zoomを利用した双方向性セミナー)

スケジュール

- 全体進行:原田 昌範医師(セミナー実行委員長)

13:00_13:20

- ◎はじめに
- ◎ご挨拶:藤田 郁昭氏
(山口県健康福祉部医療政策課
医師確保対策班長)
- ◎オリエンテーション
(原田 昌範医師)



13:25_14:35

セッション1:外来診療を見てみよう!

「診療動画閲覧(通常外来、オンライン診療、訪問診療)
+高校生とディスカッション」

1. 宮野 馨医師(相島巡回診療)



2. 原田 昌範医師(鹿野診療所)



3. まとめ(総合診療医の育成、オンライン診療など)



14:45_16:00

セッション2:地域の健康につながる住民活動

※ファシリテーターは、森弘、藤本+医学生3名(増井、森永、野村)

- 進行:藤本 真樹氏(福祉まちつなぎラボ コネクト・ワン 代表)

1. 地域住民活動の紹介

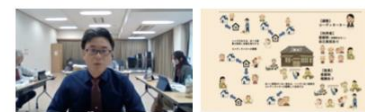
- (1)コミュニティ(明るく元気な鹿野をつくる会)全体の説明
- (2)夢プラン

- ①きらきら ②いきいき ③にこにこ
- ④ソーシャルキャピタルの健康への寄与の紹介

2. コロナ禍における地域住民活動についてのディスカッション

- (1)コロナ禍における鹿野地域の状況
 - ①地域活動への影響 ②医療・介護等への影響
- (2)ディスカッション(アプレクアウトルームでコミュニティ5名ずつの5部屋に)
 - ①今後の課題 ※地域住民が提示
 - ②高校生からの質問を中心にディスカッション

3. まとめ



12.12

第2回 高校生セミナー 岩国市

- 実施主体 / やまぐち地域医療セミナー2020実行委員会
(第2回担当:岩国市+へき地区医療支援部)
- 日時 / 令和2年12月12日(土) 14:00~17:30 <参加人数6名>
- 形式 / 完全オンライン(ZOOMを利用した双方向性セミナー)



スケジュール

■ 全体進行:宮野 馨医師
(山口県立総合医療センターへき地区医療支援部 部長)

14:00_14:10

- ◎はじめに/自己紹介/スケジュール確認
- ◎岩国市よりご挨拶、玖北エリアの紹介
大島 辰巳氏(岩国市地域医療課 課長)



人口について	人口	面積	人口密度
国全体	122,585,465,770	377,931	321.2/km ²
山口県	7,914,420	10,185	53.6/km ²
岩国市	2,404,149	1,419	57.8/km ²
玖北町	603	600	67.5/km ²
本郷町	772	663	68.0/km ²
美郷町	3,705	1,718	68.2/km ²

14:15_15:15

セッション1:

外来診療を見てみよう!地域医療の役割を知ろう!

1.片山 寛之医師(岩国市立美和病院)



2.西村 謙祐医師(岩国市立本郷診療所)



宮野 馨医師から補足説明



地域医療の色々な仕事

- 救急搬送(救急車)→救急室に到着
- 救急室で患者の病状を把握し、必要に応じて検査や処置を行う
- 病状が安定したら病室に移動して治療
- 病室で検査や処置を行い、病状が安定したら退院や在宅療養を促す
- 在宅療養が必要な患者は、在宅医療チームがサポート
- 在宅医療チームは、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などから構成されています

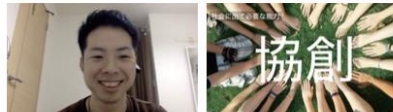


15:25_16:20

セッション2:

医師が地域に出ることの意義を知ろう!

- 進行:岡本 雄太郎医師(岩国市立錦中央病院)
「病院から飛び出して、住民と共に健康を築く」



■ 伊藤 彩保健師(美川保健センター)



16:30_17:10

セッション3:医学生等+若手医師との交流

- 進行:宮野 馨医師
プレイクアートルームで4部屋に
(医学生1名+高校生2名+医師等)

12.22

第5回 山口県医師修学資金貸与者 勉強会(やまコミ) 第3回 高校生セミナー

勉強会名称 「やまコミ~山口の医療の未来を考える会~」

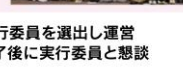
※平成28年度勉強会において、学生実行委員会により命名 やまコミ(やまぐち)と地域医療(community medicine)からの造語

- 日時 / 令和2年12月22日(火) 17:30~19:00
- 形式 / 完全オンライン(ZOOMを利用した双方向性セミナー)webex,GoogleForms
- 実施目的 / 山口県の地域医療についての実態把握や山口県医師修学資金貸与学生のキャリア形成をテーマとした勉強会を学生主体で実施することで、学生自身によって地域医療マインドの醸成や地域医療に対する理解促進を図り、将来的な山口県への医師定着や地域医療への貢献度向上につなげる。
- 参加対象 / 山口県医師修学資金貸与者 <1~4年:68名>
地域医療に興味のある高校生 <参加人数23名>
- その他 / (1)会の企画運営 1~4年の各学年の修学資金貸与者から実行委員を選出し運営
(2)当日は地域医療に興味のある山口県内の高校生も参加、会終了後に実行委員と懇談

令和元年度 第4回やまコミ開催

山口県修学資金貸与者学生主体となり運営する勉強会。毎回の勉強会の内容や運営方法は学生が決定。高校生+教員が講師、大規模な研修会。

修学資金貸与者全員参加。研修会地域医療を学ぶ医師になることへの憧れを感じるような勉強会やイベントを開催し、地域医療マインドが自主的に育つことを目指す。



スケジュール

17:30

「やまコミ~山口の医療の未来を考える会~」

既に医師として働いている修学資金貸与者による、医師を志した理由や将来の進路を決めた経緯などについての講演

- 開会挨拶・会の趣旨説明
重本 航輝さん(やまコミ実行委員長)

17:35_18:00

- 緊急医師確保対策枠医師による講演
津田 廉正医師(徳山中央病院 小児科)

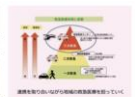


18:00_18:25

- 緊急医師確保対策枠医師による講演
伊藤 沙恵医師(萩市民病院 内科[消化器科])

18:25_18:50

- 特定診療科枠医師による講演
進 正留医師(山口大学医学部附属病院 救急科)



みんなへ
Take Home Message

- メンター、後援者の大切
- 勉強、進歩を止らぬ
- 地域医療の重要性を再認識
- 1年1回の勉強会、進歩を止らぬ

18:50_19:00

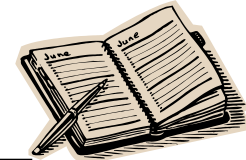
- 修学資金制度に関する質疑応答・会の総括
黒川 典枝教授(山口大学医学部附属病院 医療人育成センター)
藤田 郁昭氏(山口県健康福祉部医療政策課 医師確保対策班)

19:00

- 第3回 高校生セミナー
高校生と山口大学医学部医学科学生、指導医とのオンライン懇談会



下関市とへき地で多職種人材育成



- H30(2018)～R2(2020)

地域包括ケア人材養成プログラム等支援業務

- R3(2021)～

地域包括ケアシステム人材養成事業支援業務



山口県における
地域包括ケア人材の育成拠点の
魁となることを願って

下関市保健部
保健部長

福本 怜



同じ志をもつ仲間との
強いネットワークが
構築できた

下関市保健部長
下関市立下関保健所長

九十九 悠太

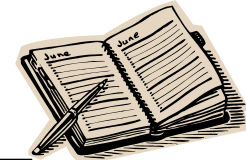


石丸文至先生

豊田 舜

シモノセキ
キラキラプロジェクト

未来のふるさとを支える人づくり



山口大学国際総合科学部：星野晋准教授

豊田町民のコミュニティ・ライフを支える 人づくり／まちづくりプロジェクト(仮)

プロジェクトの概要

将来の地域づくりを目指す地域で保健医療福祉民間その他の若手材を豊田町
(下関市)呼び込む地域を育むための人づくりまちづくり企画の実践



地域包括ケア人材養成プログラム等支援業務

- ◇ 地域医療はまちづくりである
- ◇ 地域社会と保健・医療・福祉専門職（の卵）の橋渡し
- ★ どのように呼び込むか ★ どのような人材をどのように育てるか
- ★ 地域コミュニティのはたす役割 ★ とともに地域づくりを考える
- ★ 専門職や行政とは異なるコミュニティ・デザインの見点・方法に期待
- ※ その他：やまぐち地域医療セミナー（8月20日過ぎ？）等のイベント・企画への参加

求める学生

- ★ 日本そしてアジアの未来を先取り体験したい学生
- ★ 中山間地域のコミュニティ・デザインに関心がある学生
- ★ 地域のリアルな社会課題に対して、実務的に取り組める学生
- ★ 地域住民や多種多様な専門職・学生たちと力を合わせる学生
- ★ フィールドワーク（参与観察・インタビュー）を楽しめる学生

選考基準

- ◇ レポート（志望動機・自己PR、600字程度、添付メールにて）
- ◇ 面接（随時） ※志望者多数の場合は成績も加味する

パートナー：山口県総合医療センターききこ健康センター

山口県内のへき地医療の支援、仕組みづくり、人材育成

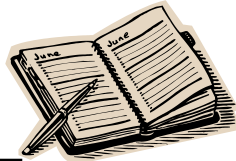
<https://www.facebook.com/yamaguchi.hekichisien>

主担当：星野 晋 ※ 詳細は研究室まで聞きに来てください

星野研究室：国総棟2 F210 hoshino@yamaguchi-u.ac.jp



「とよたび」多職種・異業種による学生実習



地域包括ケア人材養成プログラム等作成支援業務



2019 12/25水-27金
山口県下関市豊田町

下関市豊田町において安心して健康に生活できる地域づくりを進めるにあたり、将来を担う次世代の人材を、多職種連携を軸として地域で養成することを目的としています。



2019 12/25水-27金

開催場所 下関市豊田町

参加学生 山口大学、同志社女子大学、
山陽小野田市立山口東京理科大学、
山口県立大学、自治医科大学、萩看護学校

【主な実習先】豊浦消防署、豊田ホテルの里ミュージアム、千景クリニック、豊田地区コミュニティ(しめ結び)、豊田中央病院、エーテル薬局、豊田下地区コミュニティ(餅つき大会)、角島診療所、木屋川薬局、豊田コア会議、菊川・豊田地域包括支援センター、豊田保健センター、とよた訪問看護ステーション、グループホーム豊田、豊田町観光協会

Schedule

12/25水 13:00-16:00
実習 [宿泊先] ホームステイ

12/26木 9:00-16:00
実習

16:30-18:30 (下関市豊田生涯学習センター)

特別講演 「ホテルが繋ぐ地域の絆」
講師/伊藤 孝之 様 (豊田町観光協会 副会長)

ワークショップ 「まちづくり×地域包括ケア」
講師/西上 ありさ 様 (studio-L)

19:00
懇親会 (一の温泉観光ホテル) [宿泊先] 一の温泉観光ホテル

12/27金 9:00-12:00
振り返り・ディスカッション

学生たちのホームステイにご協力いただいたご家庭の代表者の方々
柴田 俊彦 様 伊藤 修二 様 伊藤 孝之 様 能登 一哉 様 山上 博明 様

Shinya Ueda



ホームステイを通じ
地域の方々と温かい交流を
持つことができた

山口県立看護学校
第一看護学科1年
上田 慎也

Natsuko Shirasaka



ご家族も含めて
病氣と向き合う医療の
大切さを知った

山口大学
医学部医学科3年
白坂 菜津子

Hiroyuki Mori



講演会を通して
集団の動かし方を
知ることができた

自治医科大学
医学部医学科5年
森 寛之

Sonoka Suizu



患者一人一人を
自分の家族だと思って
接すること

同志社女子大学
薬学部3年
水津 苑香

Ayano Takemura



豊田町の活性化のために
一丸となっている姿に
感銘を受けた

山陽小野田市立山口東京理科大学
薬学部薬学科1年
竹村 綾野

Yuki Arai



「地域における
多職種連携」の
重要性を学んだ

山口県立大学
社会学部社会科学3年
新井 結貴

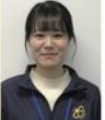
Tsuyoshi Takemura



これからの日本における
地域の町おこしについて
深く考える契機となった

山陽小野田市立山口東京理科大学
薬学部薬学科1年
竹村 剛

Sakina Kojima



実際に訪れてみないと
分からない魅力に
たくさん気づいた

山口大学
国際総合科学部3年
児島 咲菜

Utako Miyazaki



地域ぐるみでの万全の
見守り体制が整っていることに
感銘を受けた

山口大学
国際総合科学部3年
宮崎 詩己

Yuko Takata



医療にかかわる学生さんと
会って話せたのは
刺激的だった

山口大学
国際総合科学部3年
高田 裕子



とよたびでの
出会いを今後も
大切にしたい

山口県立大学
看護学部看護学科3年
穴井 遥



佐坂美月のiPhone

Zoom会議

医学部・看護学部・薬学部・栄養学部
社会福祉学部・国際総合科学部

令和3年～「未来へ」プロジェクト再始動



○ プロジェクトチームのメンバー

豊田中央病院（医師、薬剤師、看護師、栄養士、MSW、PT、事務）

千葉クリニック、エーデル薬局

菊川・豊田地域包括支援センター

社会福祉協議会・訪問看護ステーション

豊田保健センター

地域住民（まちづくり協議会、、、、）

PBL学生（山口大学国際総合科学部）

県立総合医療センターへき地医療支援部

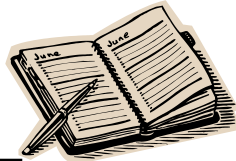
次世代の医療人を地域みんなで育てる



どうしたら住み慣れた地域で安心して
自分らしく暮らし続けられるのか
地域の皆さんと一緒に取り組む



キラサロ & とよたび 2021



次世代の医療人材と地域の方々と つなげる・つながるプロジェクト



提携先：山口県立総合医療センターへき地医療支援部
 主担当：星野晋 副担当：上田真寿美
 兒玉珠希 小羽結奈 佐藤桃圭 松原実生

豊田発シモ/セキキラプロジェクト

下関市助成による「地域包括ケア人材養成プログラム」

目的

下関市北部地域の医療の中核を担う
 豊田中央病院を中心に、
 多職種・異業種連携教育を通じて、
 地域包括ケアシステムを担う
 次世代の人材の養成をめざす。



今期のキラキラプロジェクトのテーマ

「つながる」

今期よりまちづくり協議会が参加してくれたため
 次世代の育成という目標はそのままにしながらも
 今年は「繋がり」に重きを置いて活動をしていく

地域包括ケアシステムにおける人材育成



太陽：医学的教養
 水：地域の先生たち
 空気：地域の課題、環境
 土：地域のコミュニティ



種：医学生



地域に興味がある医療人



地域に対応した医療人



地域包括ケアシステム

昨年度の調査

医学生、若手医師、まちづくり協議会へのインタビュー
 分かったこと：住民と病院の間には「壁」がある



まちづくり協議会がプロジェクトに参加！

花壇づくり



参加者：豊田中央病院、まちづくり協議会、西市高校、社会福祉協議会、PBL学生

インタビュー調査 [5.27-6.21]

対象：医学生、住民、中央病院、社会福祉協議会、まちづくり協議会、地域包括支援センター

実施理由：とよたび等の企画立案に向けた現状把握をするため
 得られた事：・住民が生き生きできる、住民の声を聞ける場が必要

- ・下関市では高齢者向けのサロンが開催されている
- ・学生にとって地域包括ケア・コア会議の学びが大きい

フィールドワーク



サロン見学：はたらかご作り

サロンについて

① 耕す

住民と病院と医学生の交流の機会をつくる



② 種を植え育てる

医学生を呼び込む
 医学生に地域医療に関心を持ってもらう



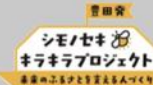
③ 環境を整える

住民に若い人と関わる楽しさを知ってもらう
 住民と医学生の間に WIN-WIN の関係をつくる



④ 観察記録

住民と医学生の交流の記録を作り、
 他地域や次年度以降につなげる



9月、随時
サロン見学

10月下旬
オリジナル
サロン開催

12月末
とよたび実施

住民と語らいながら 地域医療の芽を育みませんか？

今後更に重要性を増すといわれている在宅ケアを中心とする地域医療。
 その良い担い手となるには地域社会および住民をよく知ることが求められます。
 私達は現在、下関市豊田地区において、山口県立総合医療センターや豊田中央病院と
 協力し、地域医療人材を育てるプロジェクトを進めています。その一環として、
 このたび地区住民の交流の場である地区サロンにおいて、医学・医療系学生と地域住民
 が交流するセミナーを企画しました。地域住民との交流をたのしみながら、
 ともに日本の地域医療そして地域社会の将来を考えてみませんか？

詳細については下記のメールアドレスまで！！



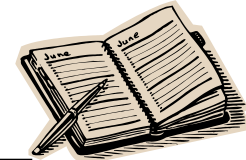
pbl2021ymgc@gmail.com

PBL 星野ゼミ

右の QR コードからもご連絡いただけます！



プロジェクトで見えてきた「チーム豊田」



課題は地域住民と共に次世代の医療人を育てる文化の醸成
Community-engaged medical education (地域参加型地域医療教育)



次世代の「地域包括ケア」の人財育成の拠点を目指す

地域住民と一緒に次世代の医療人を育てる